

## 炭酸ガス施用による冬季のきく品質向上技術の実証

### 要約

品種「神馬」において、炭酸ガス施用により上位等級の発生割合が増加し、品質向上が確認できた。また、販売金額の増加が炭酸ガス施用に係る費用を上まわり、所得は 10 a あたり 68,833 円増加した。

### ○ 展示のねらい

切花生産における炭酸ガスの施用は、バラ栽培で一早く導入され、収量や品質向上など一定の成果に繋がっている。きく生産においても、切花品質を向上させることが期待できるため、きく生産において同技術を実証した。

展示内容 供試区 炭酸ガス施用 400ppm  
対照区 炭酸ガス無施用 (部会平均出荷実績)

### ○ 主な成果

発生規格は、2 L で供試区 70.7%、対照区 55.8%、L で供試区 17.2%、対照区 25.8%、M で対照区 12.1%、処理区 18.3% だった (図 1)。炭酸ガス施用の効果が確認され、下位等級が減少し、上位等級が増加した。

10 a あたりの販売金額は、供試区 3,092,527 円、対照区 2,929,393 円となり、供試区が多くなった。炭酸ガス施用に係る費用は、供試区で 10 a あたり 94,301 円かかった。供試区の所得が対照区に対して 10 a あたり 68,833 円が増加した (表 1)。

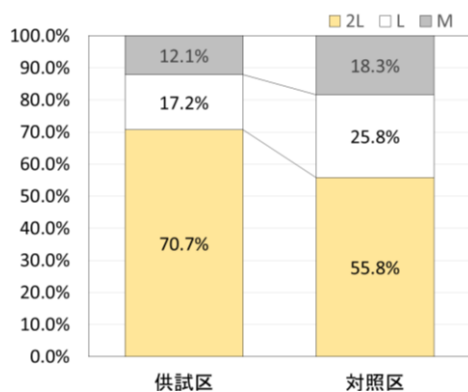


図 1 規格発生割合

表 1 販売金額及び炭酸ガス施用に係る経費(10a あたり)

処理区	粗収益①		炭酸ガス施用に係る経費②		①-② (円)
	販売金額 (円)	減価償却費※ (円)	動力光熱費 (円)		
供試区	3,092,527	45,738	48,563		2,998,226
対照区	2,929,393	0	0		2,929,393

※炭酸ガス発生装置の耐用年数を7年とした。

### ○ 今後の方向性

炭酸ガス施用と共にハウス内環境の把握を行い、他の環境要因改善も合わせて検討する。

実施機関： 那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 大田原市

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315